

人権・同和教育シリーズ ②41

【問い合わせ先】
人権啓発・男女共同参画推進課
☎0968(25)7209

エディさんの微笑み

地域人権教育指導員 中原博昭

地域の一人員として

以前勤務していた学校で、地域の祭りの準備会議に、ボランティアとして参加しました。公民館には、小学校区の文化協会や区長会、女性の会、消防団、保育園、学校など、各種団体の代表の方々が集まっていました。

その輪の中に、見慣れない男性の姿がありました。肌の色が周りの人と少し違い、話す日本語には独特のアクセントがありました。私は「この方はどなたかな」と思いました。

会議が始まり、ステージ発表について話が及んだとき、ある方がふと、「つい言いました。」今年も、あの外国人のバンド演奏をプログラムに入れよう「ああ、あの人たちね。うまいよね」と、別の方がうなずいていました。

その「外国人」は、会議室の片隅で静かに笑っておられました。おそろしく自身のことを言われていると気付いていたのだと思います。

たった一言で変わる関係

私はその場に違和感を覚え、ました。彼は地域のために時間を割いて参加しているのに、個人ではなく「外国人」という枠の中の一人としてしか見られていないように感じたのです。会議が終わった後、私は思い切って声を掛けてみました。「先ほど、バンドの話が出ていましたけど…、お名前をうかがってもよろしいですか？」彼は微笑みで、答えてくれました。「エドワードです。エディと呼ばれることが多いです」。

その瞬間、私の中で「外国人」だった彼が、「エディさん」という身近な人になりました。たった一言、名前を尋ねるだけで、彼の見え方が変わりました。「外国人」という見方でひとくくりにしてしまうと、その人の考えや想い、努力や日常が見えなくなってしまう。

しかし、名前を呼び、声を掛け、話を聞くことで、その人の人生の一端に触れることがで

あなたらしさを大切に

地域には、さまざまな背景を持つ方々が共に暮らしています。話す言葉や育った国は違っても、それぞれが今ここで暮らす一人の住民であり、名前を持つ一人の人間です。

以前に、外国人と日本人の両親を持ち、日本で育ち、日本語を母語とされている方が「日本語上手ですね。箸使いも上手」と言われ、外見で判断されたことに傷ついた」と話してくれました。

人権とは、一人一人の存在を大切にし、お互いを知ろうとする気持ちの中にあるのだと、エディさんの笑顔が教えてくれました。



農業委員会だより

【問い合わせ先】
農業委員会
☎0968(25)7235

農業者年金で安心で豊かな老後を！

サラリーマンは、厚生年金による国民年金(基礎年金)への上乘せがあります。

一方、農業者は、豊かな老後の生活のためには、国民年金だけでは十分と言えず、老後の生活費は自分で準備する必要があります。農業者の皆さんも、メリットがたくさんある農業者年金に加入して、安心で豊かな老後を迎えましょう。

次の要件を満たす人ならどこでも加入できます。

- ①年間60日以上農業に従事
- ②国民年金第1号被保険者(国民年金保険料納付免除者を除く)
- ③65歳未満(60歳以上は、国民年金の任意加入被保険者)

農業者年金の5つのポイント

【ポイント①】 積立方式・確定拠出型で少子高齢時代に強い。
【ポイント②】 保険料は、月額2万円(35歳未満で政策支援加入の対象とならない人は1万円)から6万7千円の間で自由に決

められる。
【ポイント③】 終身年金。80歳前に亡くなられた場合は、死亡一時金がある。
80歳までに受け取れるはずであった農業者老齢年金の額の現在価値に相当する額が、遺族(死亡者の死亡当時に同一生計であった配偶者、子、父母、孫、祖父母、兄弟姉妹の順位)に、死亡一時金として支給されます。
【ポイント④】 税制面で優遇措置がある。支払った保険料は全額が社会保険料控除の対象。将来受け取る農業者年金には、公的年金等控除が適用されます(65歳以上の人は公的年金などの合計額が120万円までの場合は、全額非課税)。
【ポイント⑤】 一定の要件を満たす農業者には保険料の国庫補助がある。
認定農業者で青色申告をしている人やその人と家族経営協定を結んだ配偶者・後継者など、一定の要件を満たす人には、保険料の国庫補助があります。



守り継がれる

無形民俗文化財 ⑭

【問い合わせ先】文化課 ☎0968(41)7515

◆菊池の松囃子

隈府に伝わる菊池の松囃子は御松囃子御能とも呼ばれ、市で最も古くから伝承されている芸能の一つです。国の重要無形民俗文化財に指定されており、毎年10月13日、菊池神社秋季大祭の初日に菊池松囃子能場(県指定有形民俗文化財)で奉納されています(関連6ページ)。

演じられる祝言の曲「松囃子」は舞人1人、太鼓2人、太鼓1人の囃子方と十数人の地方、後見1人で構成され、舞人は笹や扇を持って舞います。この舞の振りが古風で謡も素朴な要素をとどめているため、能の変遷過程を知る上で大変貴重な民俗芸能と評されています。松囃子の



笹の舞

狂言



蓬菜三方

菊池の松囃子の際に舞台に供えられるもので、コメを盛って木炭を立て、シイタケでカメを、ミョウガやタケ、トウガラシでツルを作り、飾り付けます

後、脇能の「老松」や能、狂言などが数番行われます。
伝承されている詞章などから起源は室町時代から継承されているものと考えられています。

宝暦7(1757)年の「菊池松囃子起源書」によると、南北朝時代、15代武光の代に征西將軍として下向した懷良親王のために、正月の祝言として守山城内で行われたのが始まりといわれ、現在でも親王お手植えと伝わるムクの木「將軍木」(県指定天然記念物)に向かって奉納します。当初は正月に行われていたましたが、ある時、武光出陣中のため行えず、7月15日に延期されたのが恒例となり、さらに現在の日にちとなりました。

【問い合わせ先】文化課 ☎0968(41)7515

輸入陶磁器にみる当時の貿易ルート

菊池氏の館跡と考えられている北宮館跡の確認調査で、中国からの輸入陶磁器が多く出土しました。当時、菊池氏は、高価な輸入陶磁器を手に入れることができる財力を持っていたと考えられます。

その中で、丸みを帯びた厚みのある13〜14世紀ごろのビロースクタイプと呼ばれる、全国でも出土例が少ない白磁が注目されています。

これは沖縄県石垣島のビロースク遺跡から出土したことからビロースクタイプと名付けられた白磁ですが、元は中国の福建省沿岸部の窯で焼かれたと考えられています。

当時、中国からの輸入陶磁器は、主に博多を経由して九州に流入していましたが、このタイプの白磁が北宮館跡から出土したことは、南方の琉球経由の貿易ルートがあり、菊池氏がそれを利用して入手していたのかもしれない。

◆KDS 菊池自動車学校

市では、市民サービスの向上や地域活性化を目的に、企業や大学など、各種団体と包括連携協定を締結しています。連携事業による取り組みを隔月で紹介します。

◆KDS 菊池自動車学校

KDS 菊池自動車学校は、昭和38年の創立以来「いのちをまもる自動車学校」を経営理念に掲げ、普通車や大型トラック、特殊車両に至るまで、安全意識の高いドライバを育成してきました。培ったノウハウを生かして、平成30年には「ドローンスクール」も開設し、次世代の技術分野にも取り組んでいます。

菊池市と弊社は、令和5年12月に包括連携協定を締結しました。交通安全や防災・災害対策、外国人の生活支援、人材育成など、多岐にわたる分野で連携を強化しています。

協定締結後は、外国人を対象とした自転車安全教室の開催や市の防災訓練におけるドローンを活用した災害支援のデモンストラクションなどの取り組みを行い、安心・安全なまちづくりと地域社会の活性化に貢献しています。



④外国人対象の自転車安全教室
⑤ドローンを使用した災害支援訓練